

第1号様式

市民との意見交換会・報告書

開催地区：東山地区	開催日時：令和6年11月14日（木） 18時00分 ～ 19時30分
担当班：第3班（出席議員）丸山さよ子、渡部認、高橋義人、中川廣文	（欠席議員）村澤智
開催場所：東公民館 1階会議室	
参加人数：男性 8名、女性 1名、合計 9名	
会場の雰囲気、次回に向けての反省点、申し送り事項など 1. 意見交換の総括 (1) 議会報告、市政全般についての総括 ① 9月定例会議について 特になし。 ② 市政全般（市のまちづくりに向けた課題）について 背炙山への風力発電建設に対し、議会として積極的に考えるよう意見があった。東山温泉事業者からは、ごみ減量につながるよう、提供した食事の持ち帰りについて、保健所の理解と協力が必要との提案があった。 (2) 地区別テーマについての総括 ① 地区別テーマ 地域防災について ② テーマ設定の理由、背景 東山地区は自主防災組織の設立を積極的に進めてきた経緯があるが、コロナ禍であったことや、防災意識に関心が薄いなどの理由で、自主防災組織起ち上げの議論が進まない地区もある。組織の重要性と合わせ、災害リスクの知識の共有による地域のつながりづくりも深掘りしたいとの考えによりテーマを設定。 ③ 主な地域課題 背炙山への風力発電建設については、今回も一般市民から懸念が示されたほか、東山温泉事業者からも、人工構造物建設による温泉への影響が想像できないとの不安の声が出された。	

会津若松市議会議長 様

令和6年12月17日

会津若松市議会市民との意見交換会実施要領第2項第11号の規定により提出します。

予算決算委員会委員長 大竹 俊哉

意見交換会第3班 代表者 丸山 さよ子

○ 議会報告(定例会など)、市政全般(市政・議会運営に関する意見交換)について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項
 (含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
背炙り山で現在8基の風力発電が稼働しているが、もう50基追加で設置しようとしている。この件について議会で煮詰めてほしい。風力発電について、議会で議題になっていないのではないかな。	風力発電については、議会として関心を持っていないわけではなく、個々の議員もそれぞれの考えを持っていると認識している。	●	①		環境
工事の最終許可には、市長の許可が必要と聞いている。議会のコンセンサスが重要になってくるであろうと考える。風力発電がああ場所に本当に必要なのか検討してもらいたい。	そういったご意見を、団体として正式に市に要望書を出してはどうか。市民からの意見を県に伝えるのも市の役割である。	○	①		環境
以前、風力発電の件で要望に伺い、傍聴にも行ったことがある。その際に、議員は形式だけで本当に話を聞いていないと感じ残念な気持ちになった。「あの議員は会派で動いているから自分の意見が言えないんだ」「少数の市民が反対しているだけだから、気にしなくていい」ということも聞いている。議員がこの件について他人事に考えているように感じる。	風力発電については、地元の方々の意見がどうなのかが大事。議員は市民の皆さんから要望をいただくが、まずは、議員個人として事業内容を熟慮している。	●	①		環境
風力発電建設反対は少数の意見ではなく、4,500名の署名を集めている。今後5,000名を目指し、意見書等を市や県にも出していきたい。	ご意見として伺う。	○	②		環境
東山温泉の事業者として、山に人工的な構造物ができると様々な影響があると考えます。以前は雨が降ると湯川は綺麗に流れていたが、現在は湯川に木が生えるような状況である。50基の風力発電のような人工構造物ができると、どのような影響が起るのか想像もつかない。	ご意見として伺う。	○	②		環境
市では、ごみについて緊急事態宣言を出している。今後、11月までの減量目標が達成されなかった場合、どうなるのか。有料化されるのか。	市では、最終的に減量目標が達成されなかった場合は有料化を検討するとしているが、有料化の方法など具体的な内容については、まだ議会に示されていない。	○	①		環境

○ 議会報告(定例会など)、市政全般(市政・議会運営に関する意見交換)について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項
 (含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
食事を提供する事業所の立場からすると、お客様に食事のお持ち帰りをしてもらえると、食物残渣も減と考えている。そのためには、保健所にも積極的にごみ減量化の方法を考えてもらいたい。	ご意見として伺う。	○	②		環境
今回、町内会で役員を決めるのに何か月もかかった。高齢化や地域に対する考え方も変化してきていると感じる。市内では、町内会がなくなったところもあると伺っている。そのような場合、市政だよりの配布など、どのようなになるのか。	行仁地区で2つの町内会がなくなった。市政だよりにについては、近くのコミュニティセンターに各世帯が取りに行っていると聞いている。 また、一箕地区では、区長が決まらなかったケースがあった。区長が決まらなと市からの補助金も支給できない。市に登録せず、自治会として継続しているケースもあるようだ。	○	①		地域社会
そのような状況だと、なおさら自主防災組織の設立は難しいと思う。	市では、小規模の町内会の合併なども働きかけている。持続可能な町内会活動については、環境生活課に相談してもらいたい。市から町内会に依頼している業務も多く、町内会の負担が多いという声は多くいただいている。町内会の負担軽減については、議会審査の中でも市に改善を働きかけていく。	○	①		地域社会

○ 地区別テーマでの意見交換について → 地域防災について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況		
		分類	番号	対応
災害はいつ起こるのかわからない。川や山の近くに住んでいる方がいるが、災害が起きたときに、そのような方が安全に退避できるように住民情報の把握やインフラの点検を行っているのか不安がある。3年か5年に一度でもいいので、消防団や市共同の防災訓練を行ってほしい。市は災害対策をどのように進めているのか。	市では、毎年異なる地区で防災訓練を行っている。他の地区では、独自で定期的に防災訓練を行っている地区もあり、東山地区でも市や消防団に協力を仰ぎながら防災訓練を行ってみてはいかがか。	○	①	
自主防災組織を起ち上げ、慶山地区では過去に4から5回防災訓練を行ったことがある。令和2年には100名程が参加した。自主防災組織起ち上げの際も、防災訓練を行う際にも、市の危機管理課職員に何度も来てもらい、一緒に活動した経緯がある。	ご意見として伺う。	○	②	
地域の人の中には防災に関心が低い人も一定数いる。自主防災組織の設立について地区で話をしたこともあるが関心が低く設立には至っていない。災害には種類があるので、具体的な災害に対してどのように備えたら良いのかわからない。	市の出前講座では、ゲームを通して避難所運営について学んだり、震災から身を守る方法やシミュレーションを行う等様々なメニューがある。そのような場を通して皆さんの意識に働きかけていくこともできている。 また、避難訓練を冬期間に実施できないかと議会で一般質問をした議員がおり、今のところ、市では冬期間の実施は考えていないようだが、可能な限り、様々な状況下での防災訓練を実施していきたいとの市からの答弁があった。	○	①	
以前、慶山地区で行った避難訓練は大掛かりなものであった。準備することも多く、大勢の方の人出と時間を要した。最初は小さくできることから出前講座等を活用しながら考えてみたい。	ご意見として伺う。	○	②	
災害の種類によって避難場所を変えないといけなのは理解できない。自分の地区では一律全員が行仁小学校に避難することに決めている。	避難場所を統一できないかという思いは理解できる。しかし、災害に応じて安全に避難できる避難場所が必要ではあると考えている。	○	①	

○ 地区別テーマでの意見交換について → 地域防災について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況		
		分類	番号	対応
東山地区と、土砂災害警戒区域から外れている複数の民間事業所との間で協定を進めている。災害発生時に、市民が協定を結んだ事業所を避難場所として避難できるよう話し合いが行われている。	前回の意見交換会でも同様のご意見が出されており、危機管理課に確認したところ、11月中旬に協定が結ばれそうだと聞いている。	○	①	
市の防災会議のメンバーであるが、会議の事前に分厚い資料が送られてくるが、会議は短時間で終わるし、内容も非常に簡単な説明しかない。こんなに大事な話をなぜ簡単に終わらせてしまうのか。このような会議の在り方はいかがなものか。 せめて、意見が出やすい環境になるように、市長ではなく、市の職員が議長をしてほしい。あの会議の雰囲気では、市長に意見を出しにくい。	貴重なご意見として伺う。	○	②	
街づくりの中で、東山温泉のスクラップ&ビルドについても考えてほしい。東山温泉も老朽化しており、防災について考えてもらいたい。	議会も市も入湯税の引き上げについて検討を進めている。スクラップ&ビルドという点においては、基金の設置について12月定例会議で条例改正案が出される。基金の使途については産業経済委員会で協議する予定である。しかし、防災に直接つながる予算ではないという点はご理解いただきたい。	○	①	
財源の使途については、基金が使われる前に事前に我々にも説明していただきたい。	ご意見として伺う。	○	②	